

平成28年 第8回伊那地域協議会会議録

開催日	平成29年3月28日(火)								
開催時間	開 会	午後6時30分			閉 会	午後8時45分			
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール								
委員の出欠 出席28名 欠席11名		委員氏名			委員氏名			委員氏名	
	1	板倉 倫顕	出	16	伊藤 和義	出	31	岩本 庄平	欠
	2	守屋 武夫	出	17	西澤 茂也	欠	32	高橋 陽子	欠
	3	伊藤 仁	欠	18	藤澤 香澄	出	33	唐木 由美子	出
	4	久保村 友保	出	19	若林 一雄	出	34	鈴木 優子	出
	5	白鳥 始	出	20	池上 直樹	欠	35	平澤 澄穂	欠
	6	細田 幸一	出	21	宮下 平治	出	36	武田 登	出
	7	中村 初治	欠	22	畑 英城	出	37	平賀 裕子	出
	8	宮下 信一	出	23	中村 繁子	欠	38	小林 正	出
	9	中村 隆幸	出	24	小林 旬子	出	39	井口 清吾	出
	10	伊澤 芳人	出	25	向山 昌江	欠			
	11	有馬 久雄	出	26	田中 利幸	出			
	12	酒井 秋雄	出	27	小池 弥生	出			
	13	林 典男	出	28	増田 良平	欠			
	14	米窪 砂男	出	29	細田 勇次	欠			
15	平澤 徹	出	30	武田 禎祐	出				
署名委員	若林 一雄			宮下 平治					
条例第10条の規定により出席した者	なし								
市側の出席者	なし								
出席した事務局職員	地域創造課長 宮原 貴敏 地域振興係長 飯島 勝 地域振興係 橋爪 智美								
報告	報告事項 (1) 伊那市議会3月定例会での議員提案について								
議事	協議事項 (1) 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金について (2) 伊那地域協議会での検討テーマについて								

	(3) その他
配布資料	資料 No. 1-1 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金事業一覧 資料 No. 1-2 H29伊那市協働のまちづくり交付金事業 資料 No. 2 伊那地域協議会における検討テーマ整理表

1 開会

久保村副会長により、開会する。

(欠席の報告)

2 あいさつ (会長より)

本日は重要な案件が2件ある。1つ目は平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金について、2つ目は伊那地区地域協議会の検討テーマについてである。

3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に19番 若林 一雄委員、21番 宮下 平治委員を指名する。

4 報告事項

(1) 伊那市議会3月定例会での議員提案について

(事務局)

3月定例会の白鳥敏明議員の一般質問で、伊那地域自治区のエリアは大変広いので地域特有の課題について協議するのは無理があるのではないかという質問があった。伊那西地区の活性化という名目の中の一つとして提案されたのだが、エリアが広いことから小学校区を単位とした地域自治区の方が良いのではないかという提案であった。この小学校区単位という話は、地域自治区の在り方を検討する中で平成27年度において市から投げかけた経過があるが、その際には地域との合意形成まで至らず従来どおりの範囲で継続されている。議員からの提案については、今までの経過も伝え、今後地域の皆さんから細分化の必要を求められれば検討すると回答した。3月9日の信濃毎日新聞には、「伊那地域自治区の分割を再検討」といったタイトルで記事が掲載されたので、分割するのかわろされた方もいたかと思うが、昨年度検討した経過があるので、今後委員の皆さんや地域の皆さんから分割すべきという意見があれば、検討をしていく必要が出てくるかもしれないということで、早速検討を始めるということではない。

5 協議事項

(1) 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金について

(事務局)

平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金について説明。

<質疑・応答>

(会長)

選考委員について事務局の案が出ているがご意見いただきたい。案に賛成ということでよいか。

<異議なし>

(会長)

説明のあった8件の事業について意見をいただきたい。後日選考委員会で申請者へのヒアリングをするので、その際に聞いてほしいことを出していきたい。1番目の事業についてはいかがか。

(委員)

団体設立準備費があるが交付金の活用例の経費の中でどういうものに該当するのか。692,000円の中身が交付金に該当するものなのかわかるか。

(事務局)

オリジナル曲と振付の製作費、衣装、ロゴの作成等。ロゴや団体の旗は会の運営費にあたるものになるので、選考会で検討していただければと思うが対象外ではないかと思われる。

(委員)

できれば準備費の中を細かく分けて該当する費用と該当しない費用に分けた方が分かり易くて良いと思う。

(委員)

既にあるサークルやクラブを使っているのか、公募して多くの方を集めて練習するのか。大会はどの大会に参加しようとしているのか。どのくらいの何種類の大会に参加しようとしているのか。具体的に知りたい。

(事務局)

設立したのが今年の1月1日であり、発足して間もない会である。現在は5人の構成員のようだが、これから徐々にメンバーを増やして大会に参加していきたいという会のようだ。大会については「すわこい」に参加し、交通費は「すわこい」と「なごやど祭」の見学で10万円が見積もられている。

(委員)

5名というのは大人のいわゆる中核となっている方的人数なのか。子供も含めた人数なのか。

(事務局)

会の名簿が添付されているが、大人なのか子供なのかは不明なので、ヒアリングで確認していきたい。

(委員)

事業内容は大変良いことだと思う。他の地域でも祭に出ている団体が多くある。

(委員)

事業内容が構成員の5名が主になって活動しているだけに見えてしまうので、そうではなくていずれは多くの市民に参加してもらい指導するという項目も入っていると地域協議会の予算を付ける名分が立つ。自分達だけで活動していくように見えないわけではないので、その辺りを確認してもらいたい。活動内容を市民一般に広げるという面を強く出してもらいたい。

(委員)

新しい団体のようなのだが、団体を立ち上げるために交付金を申請しているのか。以後継続して活動していくのか。

(会長)

公民館にもこういったグループがあるが、そことの区分けを聞きたいと思う。1番目の事業についてはよろしいか。2番目の事業についてはいかがか。

(委員)

区民だけに限定して交付金を使おうとしているような意図があるので、もう少し開かれた方を対象に、日影区でウォーキングロードを作るという表現にならないか。区民だけのものならば交付金の交付を考える必要がある。

(会長)

3番目の事業についてはいかがか。

(委員)

事業内容に地域の酪農家の牛乳を使って加工製品を開発するとあるが、事業費10万円でのどのような製品を計画しているのか。加工品を作成するとなるとかなり大がかりにやらないと地域のためにならないと思う。

(事務局)

団体から出てきた経費の詳細によると、乳製品の開発指導で謝金が4万円。材料費の牛乳が1万円。広告費として、パッケージのデザインの製作費が3万円。開発した商品を入れるパッケージが100個分で1万円。調理場を借りる賃借料として1万で合計10万円となっている。何を作るのかは書いてない。

(委員)

事業収入の29万円は結構な金額だが、収入が実際にありそうなのか聞いていただきたい。事業を上げすぎではないか。

(事務局)

29万円の内訳はオープンカフェで200円の100人分で2万円。森のジャズライブが1人1,500円の参加費で100人の参加を見込んで15万円。スツール作りは4,000円の参加費で30名ということで12万円。あわせて29万円という内訳になっている。

(会長)

4番目の事業についてはいかがか。

(委員)

薄手のものはもっと安いと思うが、5,000円のジャンパーは高額だと思う。

(委員)

この事業の代表をしているが、ジャンパーの内訳として3,500円の冬場も着られるような少し厚手のジャンパーを60着で21万円。2,000円のヤッケのようなものを20着で4万円。合計で25万円を申請した。毎年メンバーが変わっていくということもあり、ジャンパーは持ち越しということで引き継いで使用している。現在使用しているジャンパーが発足当時に作られたものなので、ここで新しいものに変えたい。

(委員)

既に東小ののびゆく会の組織があると思うがそれとの関係はどうなるのか。各地域でも見守り隊をお願いしている方がいると思うがそこの関係はどうなっているのか。

(委員)

学校の組織の中の見守り隊に並列したようなところで、見守り隊を希望者する保護者や東小学区内の家庭の方のボランティアという形で広く募集して人員確保をしている。東小学区の区長さんも参加メンバーになっており、地区ごとの子供会のPTAそういった方たちが下部組織の見守り隊となっている。その方たちも含めた東小ののびゆく会の中の見守

り隊ということになる。

(会長)

5番目の事業についてはいかがか。

(委員)

経費が1,698,000円で事業収入が1,410,000円、288,000円の交付対象額がどの費目に該当するのか知りたい。交付金を出すにあたって、どこの何を対象とするのかがわからない。他の事業についても同様に、支出と収入が差し引きされていて、何を交付金の対象とするのか見えない。そこは明確にした方がよいのではないか。

(事務局)

申請団体はこまくさの会である。個人会員と団体会員がいる。5団体が団体として会員となっている。

(委員)

西駒山荘は伊那地域の地籍なのか。協議会の範囲になるのか。

(事務局)

おそらく伊那市伊那の住所ではないか。

(委員)

事業収入1,410,000円だが内訳を知りたい。

(事務局)

参加費一般が4,500円、学生が3,500円。これまでのレンガの持ち上げの実績を考慮して参加者数を概ね出して算出していると思われる。

(委員)

昨年までのレンガを運び上げるイベントについては、申請がなかった分は市から出ていたのではないか。

(事務局)

市の事業ということではなく、任意の団体である西駒こまくさ会が主催する事業である。これまでは県の元気づくりを活用して事業を行っていたと記憶している。

(会長)

6番目の事業についてはいかがか。講師の謝金が30万円で高額である。

(事務局)

3人の講師を依頼し、1人10万円。

(委員)

講師を呼んで9/23の1日でこれだけの金額を使ってイベントを実施するというのか。講師の謝金の金額が大きいし、市民のママさんたちにどのように集まってもらうよう周知するのか。ただランダムにチラシを配ったとしてもおそらく人は集まらない。その辺りをどのように考えているのか。

(委員)

来年も継続していくのか。継続性があるのか聞いてもらいたい。

(会長)

7番目の事業についてはいかがか。

(委員)

机とイスの材料費で80万円の申請がある。先程の伊那西では1人4,000円の負担があったが、負担金はないのか。

(事務局)

作成した机とイスは個人のものになる計画ではないので、個人負担はないのではと思われる。

(委員)

私に関わっているが、ヒアリングの際に聞いてもらえればと思うが、作成した机とイスはセントラルパークで開催されるイベント時に使われるものである。材料を量販店から購入すれば安い商店街で実施するイベントがそれでいいのかという議論があり、材料費はかかるが間伐材を使用する予定である。

(委員)

大型のテントは新たに買うということなのか。事業期間が6月25日から2月28日とあるが、ワークショップやイベント等を何回かに分けて実施するというのか。

(委員)

大型テントは夏場据え置き予定である。セントラルパークに日陰がないので、日陰を作って子供たちの遊ぶ場所を作ろうという計画である。昨年もスプリンクラーを設置したが、それだけでも人が集まってきたことから計画をした。セントラルパークで毎月実施

しているイベントで使用するのと、春と秋の飲み歩きイベントでも使用する予定である。また、イスと机は毎月実施している朝マルシェのイベント後に参加してもらって作ることで、愛着のわくものが出来るのではないかと考えている。

(委員)

テントやイス、机は備品になる。保管する場所は用意してあるのか。

(委員)

場所は用意してある。

(会長)

区や学校にも使用していないテントが多くあるので、その点についてもヒアリングしてみたい。8番目の事業についてはいかがか。

(委員)

アルプスという表現があるが、アルプスというと中央、南の両アルプスとなるが、事業内容を見ると南アルプスを指しているようである。両アルプスを対象とならないか。また、外からくる方はマイカーでくることが多く、中心市街地は素通りしてしまうことが多いが対策をどう考えているか。

(会長)

申請された事業について質問、疑問点を出していただいた。これを踏まえて選考委員会でヒアリングをしていきたい。

(委員)

3番の事業についてだが、過疎地における住民の有志ということで、小沢、横山、ますみヶ丘の意見で保育園をどうするのか過疎化をどうするのかとかといった問題の改善・解決に結びつくかわからないが、私はますみヶ丘のイベントを実施してみる価値があると思う。賛成の意見である。

(委員)

交付金を決定していく段階で、事業が今後発展していくように、この項目に対して補助をするというのが分かるようにしてほしい。昨年度は備品的なものはあまりよくないという話もあった。申請された事業には備品が多く計上されているが、今までと整合がとれるような形で考えてほしい。

(委員)

平成28年度の実績報告を委員に文書で提示してほしい。

(事務局)

全ての事業の実績報告がまだされていない。出揃ったところで、皆さんに報告する。

(2) 伊那地域協議会での検討テーマについて

(事務局)

今年1年間かけて検討いただいた提言書を、正副会長から2月15日に市長へ提言した。今後、行政で取り組むべきことは検討するなり取りかかる必要があると思う。市長との懇談の中で、年度の統一の関係については先の協議会でも説明したが、市としても区に投げかけをしているところである。自治会の加入促進については、伊那市では今約76%の方が加入していて、近隣の市町村に比べて比較的高い率であるが、年々減少していくことが危惧されている。また、転入者において入区費が非常に負担になるという中で、区で財産を所有していて転入者にも負担してほしいということもあろうかと思うが、今後区で検討していただきたいという話もあった。竜東北部における施設の建設要望については、人口減少社会の中で人口動態の分析もしながら、ハードの整備には見極めが必要である。中心市街地の活性化だが、駅前に空き店舗がある状態である。地権者等との調整も大きな課題があるので、必要に応じて行政も関与して、中心市街地の活性化に取り組んでいく必要があるという懇談内容であった。提言書の内容について行政がなすべきこと、あるいは地域の皆さんが行っていただくことを提言書の中に記載してあるので、地域協議会の委員の皆さんからも区長さんなりいろいろな場面で伝えていただきたい。

伊那地域協議会での検討テーマについて説明。

(会長)

前回の地域協議会で話し合ったとおり、テーマを事務局で分類をした。地域協議会のテーマとすることが適当な事項として分類された5つについて意見をいただきたい。前回は4グループだったので、検討テーマは4つがいいのではないかと思う。

(委員)

先日日影区で火事が発生したとき最初に駆け付けたのは高遠消防署であった。市の担当部署で検討すべき事項に分類されている9番の消防署分所の設置については、3番の竜東北部の公共施設の在り方についてに含めて検討したい。

(委員)

先日報告会に参加して他の地区の西箕輪や高遠は地域協議会の課題を交付金を使って解決するような流れがあった。提言書まで時間をかけて検討してきたので、それが具体的な形となってできるような、提言があつて翌年度は地域協議会の交付金を使って実現しよ

うというようなステップでやっていけたらと思う。例えば、中心市街地の活性化については昨年検討し具体的に何が必要かもわかってきたので、それを具体的に事業として実施し地域協議会として実現していくのがよいと思う。

(委員)

子どもに学校を卒業させるまでが親の務めと考えてきたが、伊那に呼び戻して結婚させるまでが親の務めではないかと思うようになった。④の少子化、過疎化への対策についてだが、県外に進学した子供たちが地元に戻らず就職をしてしまうのを改善できれば、少子化、過疎化も改善できると思う。先日の報告会での市長の話によれば伊那市近隣には1,600の企業があるそうだ。採用するのであれば地元を優先するとか伊那に戻ってこられるような対策をこの場で検討していきたい。④のテーマは伊那西地区を中心に検討するのではなく、全地区での検討をしたい。

(委員)

竜東北部の公共施設の在り方については、担当部署で検討すべきことに分類されているスマートインター開通による交通網の整備と周辺の土地利用についてを含めて、竜東北部に限らず伊那地域の公共施設の在り方についてとして検討したらどうか。

(委員)

今の意見に賛成で、伊那地区の地域協議会なのである程度広範囲な検討をした方が地域協議会として正しいのではないか。各ブロックで検討をしていくのは各区長さんがやっていると思うので、伊那地区全体のことを検討していくのが、この協議会のあるべき姿ではないかと思う。

(委員)

今の意見はもっともだと思うが、スマートインターについては内容が専門的な分野が多く、土地利用となると利用目的が決められていることもあるので、地域協議会で検討できる内容なのか心配である。

(事務局)

スマートインターの周辺整備に関しては非常に大事なことで、活用に関しては地域の皆さんの意見が大切になってくるが、事務局が担当課で検討すべき事項として分類したのは、土地利用に難しい問題があり、ある程度のたたき台ができた上で、皆さんの意見・提言をいただいていくことが良いと考えた。そういったことから、まず担当部署で検討すべきこととして分類をしたが、意見もでていたので、地域協議会の委員の皆さんでテーマとするか協議いただければと思う。

(委員)

市では5か年計画とかビジョンをもって計画を立てていると思う。それを最初に示してくれないと、地域協議会で検討しても、既に計画に沿って動いているということになりかねない。計画があれば示してその上で検討していかなければならないと思う。

(事務局)

担当課に聞いたところ、検討は進んでいるがまだ公表する段階ではないとのことであった。いずれにしても情報は地域協議会でも知らせていく必要があると思う。

(委員)

道路整備に関しては計画があるのではないか。計画をおおまかに示してもらい、その上で検討していく必要があると思う。

(事務局)

計画等示すことができるものは、示していく。

(会長)

スマートインターについては、地域協議会でゼロから検討していくのは計画もあるようなので難しい。伊那中央清掃センターの跡地利用でこんなものを造ってほしいというのは要望としてあげることができる。

(委員)

スマートインターについてはわかるが、テーマは竜東北部ではなく伊那地域として検討をしたい。市の担当部署で検討すべき事項について担当部署を教えてください。また、道路網の整備について環状南線だが立体交差にさせていただきたいという事項は既に計画が決まっているかと思うし、危険傾斜地の倒木については担当部署において対応済と聞いている。

(委員)

危険傾斜地の倒木については3月の中旬に対応してくれた。ついでにだが、東部中学校のグラウンドの脇に太いケヤキが枯れているので、それも対応してくれれば東部中学校の生徒も安全かと思う。

(事務局)

担当部署を説明。

(委員)

検討テーマで国道153号のバイパスという問題が出ている。我々の地元に出されているのが、道路の構造はもちろんだが、その周辺の活用方法についてどのように利用していく

のかどのような協定を結んでいくのか等投げかけられているので、その辺りも含めて検討したい。

(会長)

3番と4番の課題は検討していくということによろしいか。1、2、5番についてはいかがか。補強意見・賛成・反対意見等お願いしたい。

(委員)

1番から5番までで自分が検討したいテーマを選んで、テーマについて検討したい方が数人であれば違うテーマと統合するという方法はどうか。話をしてもなかなか決まらない。

(会長)

3番4番のテーマについては検討するという事なので、1、2、5番の中で検討したい方が少ないテーマは検討しないということでしょうか。

(委員)

3番4番は検討すると決めないで、1番から5番まででどのテーマを検討したいか選んだ方がよい。

(委員)

1、2、5番のテーマは地域の活性化やつながりということでひとくくりにはできる内容ではないか。

(委員)

自分が5番のテーマを提案したが、希望としては4番のテーマに含めてもらうのが良い。過疎化という問題をどのように解決していくかということで、もう一度自分たちの目で地域の魅力を掘り起こしながら地域活性化や地域づくりを進めていくという点で4番の内容に含まれると思う。

(会長)

提案者から5番は4番の一つとして含められれば良いという意見があったので、検討テーマは1番から4番と決めたい。

(3) その他

(事務局)

テーマを1番から4番でと決めていただいたので、どのテーマを検討したいか希望調査

を行う。その結果でグループ分けをするので、よろしくお願ひしたい。

5 その他

(委員)

日程について知らせていただきたい。

(事務局)

選考委員会を開催してその選考結果を報告したい。4月中には次回の協議会を開催できればと考えている。また、協働のまちづくり交付金の選考結果によっては二次募集もあり得る。検討テーマについては2か月に1度集まって検討いただければと考えている。

(委員)

次回に概ねのスケジュールを示していただきたい。

6 閉会

(副会長)

大変お忙しい中ありがとうございました。以上をもちまして、第8回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成29年3月28日

平成28年度 第8回伊那地域協議会 会議録

会 長

会議録署名人

会議録署名人